

JVA REPORT

4

'06 APRIL
NO.115

MAIN REPORTS

板谷駿一専務理事、後藤健郎事務局長 就任ご挨拶
2005年(1月~12月)統計調査報告
「JVAショップコンテスト2005」結果発表

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

社団法人 **日本映像ソフト協会 会報**

〒104-0045 東京都中央区築地2丁目12番地10号(築地MFビル26号館3階)

電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>

編集・発行 社団法人 日本映像ソフト協会

2006年4月12日発行

板谷駿一専務理事、後藤健郎事務局長 就任ご挨拶	2
2005年(1月～12月)統計調査報告	3
第250、251回定例理事会開催報告	5
「JVAショップコンテスト2005」結果報告	6
次世代光ディスク委員会メディア仕様ワーキンググループからの報告	9
レンタル用DVD取扱注意喚起マークについて	10
JVA会員懇親ゴルフコンペ開催のお知らせ	10
違法対策部会活動報告	10
不正商品対策協議会	11
リレーエッセイ ⁵⁸	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計(2005年12月度、2006年1月度、2月度)	14

去る2月7日に開催された第250回定例理事会において、児玉昭義専務理事・事務局長より辞任届が提出され、本年2月28日をもって同職を退任、後任には、理事全員一致により専務理事に板谷駿一理事(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長)が、事務局長には後藤健郎(前業務部長代理兼法務課長)が、それぞれ本年3月1日付で就任しました。以下に就任のご挨拶を申し上げます。

専務理事就任ご挨拶



専務理事
板谷駿一

この度、当協会理事ご諸兄のご推挙により、専務理事に就任致しました。映像パッケージソフトの市場は、近年のDVDの成長により急激にその規模を拡大してきており、いまや映像産業全体を支える基幹事業となりました。しかし同時に、乗り越えなければならない課題も多く存在していると認識しております。

DVDの登場によって、一般消費者は容易に映像を手に入れることができるようになった反面、そのソフトが違法に使用されることも多くなっているようです。例えば、違法に複製されたDVDが路上で、あるいはネット上で販売されるケース等が多々見受けられます。こういった違法行為に対しては厳しく対処していくと共に、著作権思想の啓発活動に一層力を入れていく必要があると思います。同時に、新しいメディアやツールが社会に浸透していく早さには目を見張るものがありますが、それに適応した法制度の整備にも積極的に働きかけていきたいと存じます。

またDVDのセルマーケットも成熟期を迎えたようで、

成長率が鈍化してきております。これからさらに市場拡大を推し進めていくためには、業界一丸となつての努力と工夫が必要でしょう。レンタルマーケットにおいても同様です。協会として、マーケティングの研究やマーケット活性化のための施策を引き続き行っていきたいと思ひます。

さらに、いよいよ現実的な段階を迎えた映像配信事業や次世代光ディスクについても、我々にとっての新たなビジネスチャンスとして確実にテイクオフできるよう、映像製作者の団体として意見や方向性を集約し環境の整備を整えていく必要があります。さらに既存のマーケットと相乗効果が得られるような施策をとっていく必要があります。

そのほか、課題には限りはありませんが、映像製作者の立場に立ち、団体としてなすべき仕事を適確に行っていくよう、会員の皆様、関係官庁、関係団体、また報道の皆様、関係各位のご協力を仰ぎながら、協会の発展のために尽力して参りたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

事務局長就任ご挨拶



事務局長
後藤健郎

この度、事務局長を拝命することとなりました後藤健郎でございます。

さて、私がJVAに1985年よりお世話になってから、これまで映像ソフト業界には幾度かの転換期がございました。しかし、今日の映像ソフト業界を取り巻く環境は、デジタルネットワークとグローバリゼーションの影響により、新たな映像ビジネス、新たなビジネスモデルといった、これまでに例を見ない広がりを持つ新しいステージが生まれつつあります。それらに対する知的財産権やビジネス上の対応や課題、そして問題など山積の時であります。正にいま映像ソフト業界の大きな転換期であろうと存じます。

そうしたなか、事務局長という大任を仰せつかり、その責任の重大さに身の引き締まる思いがいたしますが、会員社の皆様方のご支援、ご協力を得て、甚だ微力ながら職務を全うしてまいりたいと存じます。そして、近い将来「あの時に苦勞してよかった」と会員各社の皆様に評価していただけるよう、この大転換期に事務局一同、力を併せて諸課題を乗り越えるべく尽力して参りたいと存じます。

どうぞ皆様からは、小職はじめ事務局に一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう切にお願いし、私のご挨拶とさせていただきます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

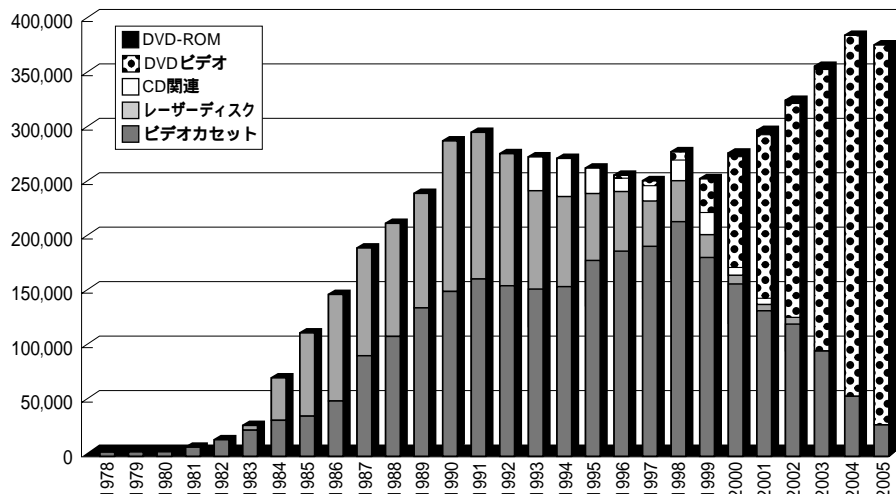
2005年(1月～12月)統計調査報告

売上金額3708億6000万円、前年比98.8%、過去最高の前年に僅かに及ばず
DVDは過去最高、カセットの半減が影響

ビデオソフトの売上金額の推移

(金額単位：百万円)

JVA正会員社を対象とした2005年1月～12月の出荷の統計調査がまとまった。同調査の結果は「統計調査報告書Vol.61」として纏められ、3月15日(水)に記者発表された他、会員各社および関係官庁、団体等に配布された。なお、同報告書は一般にも頒布している。以下に調査結果の概要を掲載する。



ビデオソフトの売上金額と売上数量

百万円

本・枚

摘要	合計金額	回答社数	構成比	前年比	合計数量	回答社数	構成比	前年比
D V D ビ デ オ	347,707	31 / 34社	93.8%	108.7%	110,051,146	31 / 34社	96.0%	110.0%
ビデオカセット	23,153	30 / 33社	6.2%	41.6%	4,621,105	31 / 33社	4.0%	45.0%
ソフトの総売上	370,860	32 / 34社	100.0%	98.8%	114,672,251	32 / 34社	100.0%	104.0%

注1) 回答社数 左辺は上半期の回答社数、右辺は下半期の回答社数 注2) 返品分は金額、数量とも調査時点で差し引いている。このためマイナス計上となる場合もある。

百万円

本・枚

	DVDビデオの売上金額			DVDビデオの売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	262,179	75.4%	104.5%	89,580,742	81.4%	107.6%
レンタル店用(個人向)	83,893	24.1%	124.8%	16,038,626	14.6%	119.5%
その他・業務用	1,635	0.5%	101.2%	4,431,778	4.0%	133.2%

	ビデオカセットの売上金額			ビデオカセットの売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	3,300	14.2%	43.6%	1,012,930	21.9%	36.5%
レンタル店用(個人向)	19,396	83.8%	41.1%	3,332,119	72.1%	48.2%
その他・業務用	457	2.0%	49.6%	276,056	6.0%	46.7%

	ソフトの合計売上金額			ソフトの合計売上数量		
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比
販売用(個人向)	265,479	71.6%	102.7%	90,593,672	79.0%	105.3%
レンタル店用(個人向)	103,289	27.8%	90.3%	19,370,745	16.9%	95.2%
その他・業務用	2,092	0.6%	82.5%	4,707,834	4.1%	120.1%

1. ビデオソフトの総売上は3708億6000万円で、過去最高の売上となった2004年には僅かに及ばず前年比98.8%となった。一方、売上数量は1億1467万2251枚/本で前年比104.0%、過去最高の出荷数量となった。

2. 2005年の特徴的な変化は、ビデオカセットからDVDビデオへのシフトが最終段階に入ったことからビデオカセット市場が急激にその規模を縮小したことである。

ビデオカセットの売上金額は231億5300万円で前年比41.6%、ビデオソフト全体の売上金額に占めるビデオカセットの割合は6.2%にまで低下した(前年は14.8%)。数量ではさらに構成比が下がり、全体の4.0%にとどまった。

3. これまでビデオソフト市場の拡大を牽引してきたDVDビデオの売上金額は3477億700万円で、前年比108.7%となり、依然過去最高の売上を更新している。しかし2004年の成長率(2004/2003)124.0%に比べると率が低下してきており、“成長期”から“成熟期”にはいりつつある様子が伺える。特に「販売用」の市場は、2004年の前年比113.0%から2005年の同104.5%と成長率が鈍化している。

4. レンタル市場はDVDビデオの在庫拡大の影響で2002年から2004年までの3年間は拡大傾向にあったが、2005年はビデオカセットの出荷が伸びず(前年比41.1%)、レンタル市場全体の売上が1割の減少となった。DVDビデオの「レンタル店用」は前年比124.8%と依然高い成長率となっており、レンタル店用のDVDビデオ対ビデオ

DVDビデオ ジャンル別売上金額

(金額単位: 百万円)

ジャンル	合計	販売用	前年比	レンタル店用	前年比
邦画(TVドラマを除く)	30,768	20,358	100.9%	10,360	127.0%
日本のTVドラマ	11,089	6,931	65.5%	4,099	98.7%
洋画(TVドラマを除く)	111,168	77,223	91.9%	33,858	109.1%
海外のTVドラマ	19,645	11,956	88.0%	7,689	106.1%
日本のアニメーション(一般向け)	80,487	63,208	145.4%	17,143	186.3%
海外のアニメーション(一般向け)	10,479	7,627	58.7%	2,822	132.9%
日本の子供向け(アニメーション)	11,069	6,012	111.6%	5,019	190.8%
日本の子供向け(アニメーション以外)	4,618	3,390	97.9%	1,224	131.8%
海外の子供向け(アニメーション)	1,789	1,448	60.9%	335	70.4%
海外の子供向け(アニメーション以外)	225	220	50.6%	4	4.5%
音楽(邦楽)	31,760	31,509	116.4%	13	25.5%
音楽(洋楽)	7,270	7,218	83.3%	33	1650.0%
ビデオカラオケ	41	20	45.5%	0	ERR
芸能・趣味・教養	19,855	19,041	123.7%	773	104.3%
ゲーム	0	0	ERR	0	ERR
スポーツ	4,060	3,759	240.8%	301	358.3%
学校教育・企業教育・語学教育	722	377	4712.5%	8	7.8%
成人娯楽	52	44	84.6%	8	266.7%
その他	2,610	1,838	113.8%	204	102.0%
計	347,707	262,179	104.5%	83,893	124.8%

ビデオカセット ジャンル別売上金額

(金額単位: 百万円)

ジャンル	合計	販売用	前年比	レンタル店用	前年比
邦画(TVドラマを除く)	2,645	206	35.3%	2,315	41.4%
日本のTVドラマ	525	78	45.1%	437	25.7%
洋画(TVドラマを除く)	9,755	254	30.6%	9,473	41.2%
海外のTVドラマ	1,617	9	2.0%	1,608	34.9%
日本のアニメーション(一般向け)	2,918	577	94.9%	2,385	44.4%
海外のアニメーション(一般向け)	678	22	2.7%	638	51.1%
日本の子供向け(アニメーション)	2,653	561	64.2%	2,069	46.3%
日本の子供向け(アニメーション以外)	573	212	45.8%	348	40.2%
海外の子供向け(アニメーション)	83	5	2.2%	71	75.5%
海外の子供向け(アニメーション以外)	52	34	36.6%	18	21.7%
音楽(邦楽)	282	277	155.6%	0	ERR
音楽(洋楽)	8	8	10.7%	0	ERR
ビデオカラオケ	1	0	ERR	0	ERR
芸能・趣味・教養	864	768	36.3%	26	32.5%
ゲーム	0	0	ERR	0	ERR
スポーツ	16	9	ERR	7	15.6%
学校教育・企業教育・語学教育	354	195	ERR	1	33.3%
成人娯楽	40	40	74.1%	0	ERR
その他	89	45	93.8%	0	0.0%
計	23,153	3,300	43.6%	19,396	41.1%

合計金額と「販売用」+「レンタル店用」合計値との誤差は「その他・業務用」

カセットの売上金額の比率は、前年の58.8対41.2から81.2対18.8となった。

<セル市場>

1. DVDビデオとビデオカセットの「販売用」の売上金額の合計は2654億7900万円で、前年比102.7%となった。「販売用」の市場はビデオソフト市場全体の71.6%を占めているが、そのうちの98.8%がDVDビデオによる売上である。

2. DVDビデオの「販売用」をジャンル別に見ると、一番の構成比を占める『洋画(TVドラマを除く)』が前年比91.9%と前年を割り込んだ。一方、同ジャンルの数量は同105.1%と前年を上回って

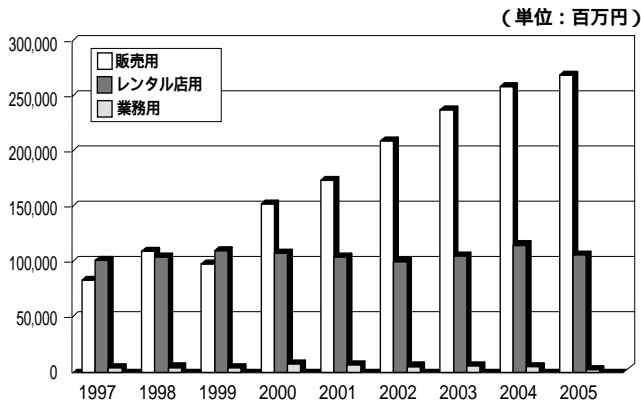
いることから、1枚当たりの単価が低下している傾向が見られる。

好調だったジャンルには、ビッグタイトルがあった『日本のアニメーション(一般向け)』(前年比145.4%)や、『音楽(邦楽)』(同116.4%)、『芸能・趣味・教養』(同123.7%)が挙げられる(『芸能・趣味・教養』にはTVバラエティなども含まれる)。反対に、2004年まで好調だった『日本のTVドラマ』や『海外のTVドラマ』はそれぞれ前年比65.5%、88.0%と奮わなかった。

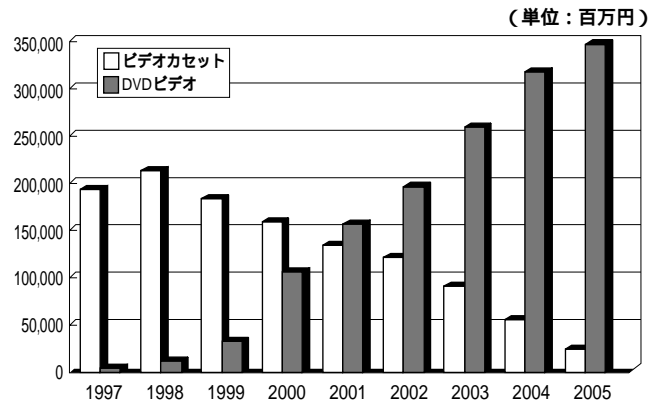
<レンタル市場>

1. DVDビデオの「レンタル店用」の売上金額をジャンル別構成

各市場規模の推移 (ビデオカセット+DVDビデオ)



ビデオカセットとDVDビデオの売上金額の比較



を除く)』が構成比40.4%で2004年の46.2%からポイントを下している。代わって構成比を伸ばしたのが『日本のアニメーション(一般向け)』で、2004年の同13.7%から20.4%となり、『邦画(TVドラマを除く)』の同12.3%を抜いて第二番目の構成比となった。

売上金額の前年比では、『洋画(TVドラマを除く)』が前年比109.1%だったが、『日本のアニメーション(一般向け)』が同186.3%と絶好調、『邦画(TVドラマを除く)』も同127.0%、『日本の子供向け(アニメー

ション)』も同190.8%となるなど、主だったジャンルで大きく前年を超える売上金額となった。

2. ビデオカセット「レンタル店用」の売上金額をジャンル別構成比の高い順に見てみると、『洋画(TVドラマを除く)』、『日本のアニメーション(一般向け)』、『邦画(TVドラマを除く)』、『日本の子供向け(アニメーション)』となっており、DVDビデオの構成順序と変わらない。しかし、これらのジャンルの売上金額は、軒並み前年比50%を割り込んでいる。

理事会

THE BOARD OF DIRECTORS

第250、251回定例理事会開催報告

第250回定例理事会は、2月7日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 平成18年事業計画書(案)承認の件・・・承認
- 第2号議案 「第19回DVDでーた大賞」に対する後援名義使用承認の件・・・承認
- 第3号議案 「2006年音楽著作権管理者養成講座」開催の後援名義使用承認の件・・・承認
- 第4号議案 専務理事就退任の件・・・承認
(退任)児玉 昭義
(就任)板谷 駿一(株)NHKエンタープライズ)
- 第5号議案 事務局長人事に関する件・・・承認
(前任)児玉 昭義
(後任)後藤 健郎

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各部会報告について、次世代光ディスク委員会報告について、平成18年新年賀詞交歓会開催結果について、2005年11月度ビデオソフト売上速報について、2005年12月度ビデオソフト売上速報について、DVD生産実績及びハード出荷実績について等。

第251回定例理事会は、3月7日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 平成18年収支予算書(案)承認の件・・・承認
- 第2号議案 正会員退会の件・・・承認
(退会) 榊角川ヘラルド・ピクチャーズ
- 第3号議案 理事就退任の件・・・承認
(退任)江川 信也 (株)角川ヘラルド・ピクチャーズ
(就任)土橋 壽男 角川ヘラルド映画(株)
- 第4号議案 NPO法人JAVCOM No.115セミナーに対する協賛名義使用承認の件・・・承認
- 第5号議案 前専務理事の退職慰労金に関する件・・・承認
- 第6号議案 事務局長手当に関する件・・・承認

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各部会報告について、2005年統計調査報告書について、2006年1月度ビデオソフト売上速報について、DVDハード出荷実績について、「DVDマーケット調査」報告について等。

「JVAショッピングコンテスト2005」結果報告

営業部会マーケティング委員会では、昨年11月1日～12月31日までの2ヶ月に亘り、ビデオレンタルの活性化を目的として『JVAビデオショッピングコンテスト2005』を実施したが、このほど同キャンペーンの入賞店が決定し、2006年2月28日(火)、東京新阪急ホテルにおいて表彰式を行った。表彰式には最優秀大賞、CDV-J特別賞、各エリア最優秀賞受賞店の他、関東地区の地区連賞とエリア優秀賞店の方々をお招きし、荒井善清営業部長(ジェ

ネオンエンタテインメント(株)代表)、梶喜代三郎CDV-J理事、間宮登良松マーケティング委員会委員長(東映(株))、森下敏治キャンペーン小委員会委員長(株)ポニーキャニオン)、その他キャンペーン参加メーカー営業担当者等が出席し、賑やかな会となった。

なお3月に入ってから、各地区の地区連絡協議会が中心となり、それぞれの地区においてエリア優秀賞店舗の表彰式が行われた。

JVAショッピングコンテスト2005入賞店

賞	店舗名	賞品	住所	法人名	
最優秀賞	ビデオアメリカ上津店	表彰額と20万円分のギフト券	福岡県久留米市	(株)アベックス	
CDV-J特別賞	シャトル大津店	表彰額と15万円分のギフト券	滋賀県大津市	(有)シャトル大津	
北海道	エリア最優秀賞	ビデオMAX屯田店	北海道札幌市	(株)ヴァーテックス	
	地区連賞	旭川富貴堂末広店	北海道旭川市	(株)旭川富貴堂	
	エリア優秀賞	文教堂小樽店 文教堂北野店	北海道小樽市 北海道札幌市	(株)文教堂 (株)文教堂	
東北	エリア最優秀賞	TSUTAYAオルモ名取店	宮城県名取市	(株)オルモ	
	地区連賞	メディアイン城東店	青森県弘前市	(株)テクラ	
	エリア優秀賞	カルチャーステーションヤマサ十文字店 岩瀬書店富久山店	秋田県横手市 福島県郡山市	(株)ヤマサコーポレーション (株)岩瀬書店	
関東	エリア最優秀賞	ハリウッドビデオ横浜	神奈川県横浜市	(株)ロイ電器	
	地区連賞	TSUTAYA元住吉店 TSUTAYA新丸子店	神奈川県川崎市 神奈川県川崎市	(有)トナン (有)トナン	
	エリア優秀賞	ハリウッドムービーズ東大宮店	"	埼玉県さいたま市	(株)トップロードインターナショナル
		TSUTAYA環2下永谷店	"	神奈川県横浜市	(株)アクシス
		スーパーソフトボックス本店	"	埼玉県さいたま市	(株)ボックスグループ
		マニアック新座店	"	埼玉県新座市	(株)マニアック
		TSUTAYA天王台店	"	千葉県我孫子市	(株)ミナトカルチャーコンビニエンス
		平安堂飯山店	"	長野県飯山市	(株)平安堂
		ライベックス 藤沢店	"	神奈川県藤沢市	(株)スピリッツ
	中部	エリア最優秀賞	フカツ橋山店	愛知県安城市	(有)大菊電化
地区連賞		レンタルショップフカツ橋山店	愛知県岡崎市	(株)フカツ電化社	
エリア優秀賞		ビデオ合衆国USV 七宝店	表彰額と1万円分のギフト券	愛知県海部郡	個人経営
		くじ館鯖江店	"	福井県鯖江市	(株)竹部無線商会
		本の王国 浜松西店	"	静岡県浜松市	中田興業(株)
		夢屋書店 西尾店	"	愛知県西尾市	中田興業(株)
		WAVE岡崎本宿店	"	愛知県岡崎市	青木商事(株)
		ビデオ合衆国USV 津島店	"	愛知県津島市	個人経営
		アルタ瀬戸店	"	愛知県瀬戸市	(株)アルタ
ビデオ合衆国USV 大府店	"	愛知県大府市	(株)カジ・コーポレーション		
関西・四国	エリア最優秀賞	Days 摂津富田	大阪府高槻市	(株)ヒューマンインターフェースシステム	
	地区連賞	ビデオ合衆国USV 北落合店	兵庫県神戸市	(株)関西ユーエスバイ	
	エリア優秀賞	ブックプラザ川西山下店	表彰額と1万円分のギフト券	兵庫県川西市	(株)ブックプラザ
		ビデオプラザ峰山店	"	京都府京丹後市	(株)ビデオプラザ
		チャーリーブラウン沖浜店	"	徳島県徳島市	(株)神栄
		Culture City小松島バイパスMedia館	"	徳島県小松島市	(株)平惣
チャプターワン生駒店	"	奈良県生駒市	(株)チャプターワン		
中国	エリア最優秀賞	V-PARK JAM 津山店	岡山県津山市	(株)ジャム	
	地区連賞	じゅげむ遠石店	山口県周南市	(株)あらか	
	エリア優秀賞	アリオン米原店	表彰額と1万円分のギフト券	鳥取県米子市	(株)アリオン
		ボバイ 白島店	"	広島県広島市	(株)よしみつ
		メディア21倉敷店	"	岡山県倉敷市	映クラ(株)
メディア21真備店	"	岡山県倉敷市	映クラ(株)		
九州・沖縄	エリア最優秀賞	オックスフォード貝津店	長崎県諫早市	(有)平湯商事	
	地区連賞	ビデオアメリカ原田店	福岡県福岡市	(株)アベックス	
	エリア優秀賞	ビデオアメリカ十二軒屋店	表彰額と1万円分のギフト券	福岡県久留米市	(株)アベックス
		アイドル諫早バイパス店	"	長崎県諫早市	(株)ジャル興産
		ビデオインホワイト鷹尾店	"	宮崎県都城市	(有)ホワイト
		遊ING敵刈店	"	長崎県長崎市	(株)ひぐち
		フタバ図書GIGA今宿店	"	福岡県福岡市	(株)フタバ図書
		アイドル早岐店	"	長崎県佐世保市	(株)ジャル興産

★ 最優秀大賞 「ビデオアメリカ上津店」

イージス艦の模型の迫りに審査員からも感嘆の声が上がり、今回の受賞となった。1万円の製作費とは思えない精巧さで、高さ2メートル70センチのパネルに全長1メートル80センチの船体が据えられ、威圧感すら与えるインパクトのある作品。「亡国のイージス」のスケールを充分にアピールするディスプレイだった。



★ CDV-J 特別賞 「シャトル大津店」



「コブスブライド」の他、「ハウルの動く城」等、対象作品以外にも手書きのコメントによる手作り感溢れるPOPを多用。店員の方々の作品への思い入れが伝わってくるものであった。

北海道

★ エリア最優秀賞 「ビデオMAX 屯田店」

2005年には社会現象にもなった「電車男」を大きな電車のPOPを作りアピール。その他「バタフライ」のユニークPOPなど発想が面白い。



東北

★ エリア最優秀賞 「TSUTAYA オルモ名取店」

「電車男」のディスプレイでは、エルメスのティーカップを使い、劇中の重要なエピソードを盛り込み作品のイメージを伝える効果的な展開になっている。



関東

★ エリア最優秀賞 「ハリウッドビデオ横浜」

昨年に続き2度目の受賞。「宇宙戦争」のリアルな立体POPなど、その他多数の作品があったが、どれもユニークでオリジナルティ溢れるものばかりであった。



中部

★ エリア最優秀賞「フカツ横山店」

「宇宙戦争」の巨大で手作り感溢れるユニークなPOPが目を引き。その他テレビシリーズものの店頭告知にもユーザーの興味を引くような様々な工夫が感じられた。



関西・四国

★ エリア最優秀賞「Days 摂津富田」

「宇宙戦争」の劇中に登場する奇妙な赤い物体をゴムネットを使い上手く表現。存在感あるディスプレイになっている。その他店頭ディスプレイも多く、作品情報をユーザーにアピールする工夫がきめ細やかに展開されているのが印象的であった。



中国

★ エリア最優秀賞「V-PARK JAM津山店」

「24 TWENTY FOUR」のディスプレイをリリース前より店頭に大きく設置して大々的に告知。シリーズ物にあうユーザーアピールを行っている。



九州

★ エリア最優秀賞「オックスフォード貝津店」

「宇宙戦争」「バットマン」「スターウォーズ」3作連動の手作り感溢れる賑やかなディスプレイが目を引き効果的な展開になっている。特に「バットマン」のマントには、素材をうまく生かした手作り感のある工夫がされている。



次世代光ディスク委員会 メディア仕様ワーキンググループからの報告

次世代光ディスク委員会では、昨年9月より、メディア仕様検討ワーキンググループを設置して、メニュー画面等の操作の仕様について具体的に検討を行ってきた。

現行のDVDにおいても、各社のお客さま相談センター等への問い合わせで「メニュー画面の操作等が判り難い」という情報が増えており、次世代光ディスクにおいては、メニュー画面等の操作などを簡単に判りやすいものできないかという趣旨で検討を行った。消費者委員会の各委員に対して行ったアンケート調査結果を参考に、メニュー画面の操作の簡便な方法等を検討したが、各社の制作サイドからは、タイトルのカテゴリーによっては、メニュー画面の在り方も重要な商品差別化のポイントであって、標準化や統一化されるべきものではないという意見も多くあった。こういった意見を踏まえ、標準化、統一化ではなく、右のような推奨文書を会員各社の制作担当者に配布し、次世代光ディスク及び、今後発売されるDVDにおいても、消費者の混乱が起らないような配慮を促すこととした。

なお、同時にスタートしたパッケージ関連の検討を行うワーキングチームに於いては、店頭でのユーザーの混乱を回避するために、HD-DVDディスクとブルー・レイ・ディ

スクとの区別、さらに現行DVDとの識別が明確に出来るパッケージの仕様について検討を行っている。HD-DVDに関しては、HD-DVDプロモーショングループ（DVDフォーラム内のフォーマット管理組織）のパッケージ案等を参考にしつつ、検討を重ねているが、現行のDVDパッケージサイズを変更せずにシール処理やジャケット面での表示の工夫により、次世代ディスクとしての識別、差別化をはかる方向での検討が進んでいる。

次世代光ディスク等の発売に際しての JVAからの推奨

現行のDVDに於いても、消費者の大衆化が進むに当たり、各社の「お客さま相談センター」等に寄せられる、ディスクの操作に関する問い合わせが増えてきております。（その主な内容は別途資料（下アンケート調査結果）の通り）

このような問題を鑑み、次世代光ディスク（今後発売のDVDビデオも含めて）においては、一般の消費者、特にご婦人層、高齢者層等を対象にしたタイトルでは、消費者の混乱を避けるため、「本編」及び「その他の機能（メニュー画面等）」等の選択が容易に出来るような配慮をして制作されることを推奨いたします。

平成18年2月14日

社団法人 日本映像ソフト協会
次世代光ディスク委員会

<アンケート調査結果>

『消費者委員会によるアンケートからの主なユーザークレーム、問い合わせの抜粋』

（メニュー画面関連）

- ・メニューという概念そのものが理解できていないため、「メインメニュー」の操作まで行き着かない。
- ・何らかの操作や設定が必要であるということを認識できていないユーザーに対する、操作説明は手間がかかる。（CDと同じで自動的に映像が出てくると思っている）
- ・メニュー画面のマーカーが分かりにくい。
- ・メニュー画面の英語表記（Audio, Subtitlesなどはユーザーにわかりにくい）
- ・オートスタートの場合、メニューによる字幕選択の方法がわからない。
- ・メニュー画面が元々ない仕様の商品に対するメニューに関する問い合わせがある。
- ・2ページにわたるメインメニューの2枚目が認識できない。
- ・凝って操作の分かりにくいメニュー画面に対するクレームが多い。
- ・音声・字幕選択メニューで音声を選択するとメインに戻ってしまい、面倒である。
- ・字幕メニューで「字幕オフ」を「x」などさまざまな記号での表示パターンがあり、わかりにくい。
- ・「日本語吹き替え用字幕」の意味がわからないユーザーが多い。
- ・メニュー画面のコンテンツ項目が整然と並んでいないとリモコンで操作しにくい。
- ・ハイライトやカーソルが小さかったり、地味な色だとわかりにくい。

（操作方法関連）

- ・リモコンを使用しない方が年配者には多く、十字キー操作等わからない人がいる。
- ・メニュー画面の操作説明書を読んでもマルチアングル、ボーナストラックの見方がわかりにくい。
- ・共通の説明書でなくメニュー画面の映像等の入った作品ごとの説明書が欲しい。
- ・動画がループするメニュー画面が繰り返され、いつまでも本編がはじまらない。
（「本編スタート」のボタンが認識できていない）
- ・最初の画面から、本編をスタートさせる方法がわからない。（STARTという表示が理解できない）
- ・特典、予告編が視聴できない。（本編に続いてそのまま視聴できると思っている）
- ・音声や字幕選択がメニュー画面に限定されていて、リモコン操作からできない。
- ・特典映像の再生ができない（いろいろな再生方法が現実にはあり、商品によって仕様が異なるため）
- ・本編再生中に音声・字幕の切り替えができない仕様のもは不便である。
- ・PCで視聴する際に、自動再生されない仕様のもは再生方法がわかりにくい。
- ・ディスク挿入後に新作情報や予告編がスタートする作品はすぐに本編が見れず不愉快であり、スキップやメニューボタンで操作できるようにして欲しい。

レンタル用DVD 取扱注意喚起マークについて

営業部会マーケティング委員会では、DVDレンタルにおけるキズや汚れなどによる再生不良を減らすための対応策を検討してきた。その結果、角川ヘラルド映画(株)が既に導入している「レンタル用DVD注意喚起マーク」(下記参照)を、会員社で共通使用することが提案された。これを受けて、同社に同マークの使用許諾条件などを交渉したところ、快く無償での提供をいただけることとなり、覚書の締結も終了した。これにより、会員社は下記マークを無料で使用することが可能となった。

マークの使用に際しては、サイズ、色などの改変も自由であり、DVDレーベル面のデザインに合わせての利用が可能である。レンタルにおける不良再生などのトラブル解消をめざし、多くの会員社の採用を促したい。下記マークの使用に関するお問い合わせは業務部事業課駒崎まで。



読み取り面に直接
触れないでください



乱暴な取扱いを
しないでください

※ディスク面に指紋、汚れ、キズ等をつけると再生時の不具合の原因となります

JVA会員懇親 ゴルフコンペ開催のお知らせ

JVAでは、毎年恒例の会員社による懇親ゴルフコンペを下の日程で開催いたします。ご案内は2月中に各社の総合連絡委員の方を窓口にご連絡しております。3月10日(金)を締め切りとして参加を募りましたが、お申し込みのお済でない方がいらっしゃいましたら、管理部肥田(ひだ)03-3542-4433までご連絡いただきますようお願いいたします。

日時 2006年4月21日
午前8時18分アウト・インコース同時スタート
場所 立野クラシック・ゴルフ倶楽部
千葉県市原市中高根1166
TEL 0436-95-1111
<http://www.heiwanosan.co.jp/tateno/>
会費 お一人様 2万5千円

ANTI-PIRACY 違法対策部会

海賊版DVDをパソコンで作成、 オープン当初からレンタルに使用(大阪市)

平成18年1月、2月は、京都府、大分県、秋田県、静岡県、福岡県、福井県、兵庫県、大阪府のビデオレンタル店96店の調査・折衝を実施した。調査結果は、廃業等39店を除く実質営業店57店のうち、海賊版DVDのレンタルが2件、セル用DVDのレンタル転用が11件確認された。違法行為の確認率は23%だった。

「海賊版DVDをレンタルしている」との外部からの情報により、大阪市西淀川区にあるビデオレンタル店を調査したところ、DVDの陳列棚にカラーコピーパッケージに収納された新作の海賊版DVDを273枚確認した。同店の経営者と折衝したところ、同店は今年の1月にオープンしたばかりであり、オープン当初から、セル用DVDを購入してパソコンで複製、ディスク表面もセル用DVDのディスクレーベルをスキャナーで読み込みトリミングしていたとのことだった。違法行為の中止を指示し、警告書を手渡した。

1~2月実績

調査店数	96店
営業店数	57店
違法行為	海賊版所持 2件
確認件数	DVD、VCセル、レンタル転用 11件
海賊版確認本数	DVD 303枚
海賊版回収本数	DVD 32枚
刑事告訴事件数	4件
警察による海賊版押収本数	DVD 470枚
違法行為確認率	23%
廃業率	41%

調査状況一覧表(1、2月)

調査地区	内 訳			海賊版所持			海賊版 確認本数	海賊版 回数本数	セルDVDの レンタル転用	セルVCの レンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	許諾店	無許諾	計				
京都府	6		11							
大分県	22	3	9		1	1	30	32	5	
秋田県	7	2	10						3	
静岡県	1	1							1	
福岡県	1									
福井県	10	1	9							
兵庫県	2								2	
大阪府		1			1	1	273			
合 計	49	8	39	0	2	2	303	32	11	0

アジア知的財産権シンポジウム2006 「知的財産新時代 ～拡大するネット社会～」開催報告

不正商品対策協議会（ACA）は2006年3月10日（金）及び17日（金）の2日間にわたり「アジア知的財産権シンポジウム2006」を開催した（共催：日本経済新聞社 後援：知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省・大阪府警察本部 協力：大阪芸術大学）。

今回で8回目の開催となった同シンポジウムは、東京（10日、日経ホール）と大阪（17日、グランキューブ大阪）の2つの会場にて開催する初めての試みとなった。

当日は企業の知財担当者、大学関係者、学生等を始め、広く一般から東京大会では350名、大阪大会では130名の聴衆をそれぞれ集め、活況を呈した。

今回も両シンポジウム会場の一角では、ACAの海外視察などで入手した偽玩具や偽ブランド品、海賊版ゲームソフト・DVD・CDなどを多数展示するコーナーが設けられ、実物の不正商品に熱心に見入る聴講者の姿が見られた。

開催内容は以下のとおり。（出演者敬称略）

【東京大会】

メインテーマ：「知的財産新時代～拡大するネット社会～」

挨拶：警察庁 生活安全局長 竹花 豊

キーノートスピーチ：「アメリカ映画産業の戦略と課題」

M P A A（アメリカ映画協会）代表兼COO R・ピサノ

レポート1：「我が国の知的財産権侵害事犯の現状」

警察庁生活安全局 知的財産権保護対策官 越智 浩

聞き手 弁護士/ACA監事 前田 哲男

レポート2：「アジアにおける知的財産権侵害事犯の現状」

B S A（ビジネス ソフトウェア アライアンス）

アジア地域担当副会長 J・ハーディー

パネルディスカッション：

「知的財産新時代 ～拡大するネット社会～」

知的財産戦略推進事務局長 荒井 寿光

知的財産戦略本部員/ACA代表幹事 角川 歴彦

アップルコンピュータインク 法務本部 アソシエイト

ジェネラルカウンセル K・ソウル

（株）TBSテレビ 編成局 制作本部スポーツ局

企画渉外部長 天野雅道

モデレーター 弁護士/ACA監事 遠山 友寛

【大阪大会】

メインテーマ：「知的財産新時代 ～守って育てる知的財産～」

主催者挨拶：シンポジウム運営委員長 入江 雄三

キーノートスピーチ：「ビジネスコンテンツ世界大戦争」

作家/大阪芸術大学 芸術学部文芸学科・キャラクター造型学科学科

学科長 教授 小池 一夫

レポート1：「我が国における知的財産権侵害事犯の現状」

大阪府警察本部 生活安全部長 小島 隆雄

レポート2：「大阪・違法露店商対策の現状」

大阪府警察本部 生活安全部 生活経済課

管理官 高木 久

日本橋筋商店街振興組合 理事長 榎本 悦治

聞き手 弁護士/ACA監事 前田 哲男

パネルディスカッション：

「知的財産新時代 ～守って育てる知的財産～」

“それぞれの「ほんもの」ストーリー”

（株）大阪国際会議場 代表取締役社長 山下 和彦

ミズノ（株）法務部知的財産課主幹/弁理士 仲谷 実男

吉本興業（株）専務取締役 大崎 洋

（株）GDH 代表取締役社長/CEO 石川 真一郎

モデレーター 弁護士/ACA監事 遠山 友寛

キーノートスピーチをするロバート・ピサノ氏



不正商品対策協議会(ACA)定時総会開催報告

不正商品対策協議会の第21期(平成18年度)定時総会は、2月14日(火)午後5時より、虎ノ門パストラルにおいて開催された。

角川歴彦代表幹事(JVA会長)の議事進行により、

- (1)平成17年度事業報告及び平成17年度決算報告承認の件
- (2)平成18年度事業計画案及び平成18年度収支予算案 承認の件
- (3)事務局長委嘱の件

の議案が諮られ、原案どおり全会一致で承認された。なお、事務局長は児玉昭義の辞任に伴い、後藤健郎が就任した。

不正商品対策協議会創立20周年を迎える本年は、創立月である8月を目処に東京において記念特別事業を実施する予定。

その要旨としては、関係者を一堂に会して20周年を祝うとともに、協議会の目的である知的財産の保護と不正商品の排除の重要性について再認識を行う場とするといったもの。

2006年 台湾・韓国不正商品市場視察レポート

不正商品対策協議会では、2006年2月19日(日)~2月25日(土)の7日間に亘り、台湾、韓国に視察団を派遣した。これは毎年、アジア地域を対象に各国の不正商品市場の状況や政府や司法の取り組み状況等について実地調査することを目的にしており、台湾は1998年に続いて3回目、韓国は1999年に続いて3回目の視察となった。以下に視察概要を抜粋して掲載する。

(変換レート:TWD(台湾ドル)1ドル 4円,KRW(コリアウォン)1ウォン 0.1円)

1. 台湾(台北市)

【光華商場】

台北市・八徳路沿いに広がる電腦街。かつては陸橋高架下にその中心が存在していたが、現在は取り壊され、近隣のスペースに移転していた。その移転先に存在する一階建ての大規模ショッピングセンターを対象に調査を実施した。このショッピングセンターには、パソコン関連商品を中心にDVD、CD、ゲームソフト等を販売する売り場面積2~3坪の小さな店舗が多数入居している。従来、光華商場と言えば、海賊版等不正商品流通のメッカと称されていたが、意外なことに現在ではほとんどの日本のゲームソフトやアニメーション等のDVDは正規版が取り扱われており、海賊版を探す方が困難といった状況であった。ただし例外的に、日本のパラエティーやドラマ等のテレビ番組を収録したDVDやVCDの多くは海賊版であった。海賊版の価格は1枚TWD250~390と正規版の1/3程度。何故テレビ番組等が海賊版製造販売業者に“狙い撃ち”されているか詳細は不明だが、現地取締り当局によれば他のコンテンツに比べ権利の所在がはっきりしない傾向にあるのが理由の一つのようだ。

ここまで市場が正常化した理由として考えられるのが、台湾現地当局による取締りの強化である。台湾では2003年に“IPRP(保護智慧財産権警察大隊)”という知的財産権の保護・取締り専門的に扱う警察組織が設立され、現在200人態勢で日々不正商品の排除に向け活動している。その対象は物理的な模倣品・海賊版に止まらず、インターネット上での知的財産権侵害にも目を光らせている。

2. 韓国(ソウル市)

【龍山】

ソウル市のほぼ中心部、龍山駅付近に位置する電腦街。ここでは非常に数多くの海賊版DVDが販売されていた。電腦街の中でも、映像・音楽ソフトを扱う店舗は固まって一定の区画に密集し、そのエリア内ではごく一部正規版を扱う店舗を除き、ほぼ全ての店舗で海賊版DVDが販

売されていた。海賊版は粗末な仮設店舗で販売されているケースが多かった。それら店舗は数こそ多いものの、どの店でも扱っている海賊版のタイトルは同様であり、価格も横並びのKRW5000で正規版の1/6程度と低価格。日本のアニメの海賊版も非常に数多く販売されていた。海賊版のジャケットはカラーコピーが多く、クオリティはそれほど高くはない。また、一部店舗ではジャケットのカラーコピーのみをファイルしたカタログを何冊も用意し、いわゆる受注生産方式で販売するケースも認められた。

仮設店舗が並ぶ路地(龍山)



カタログ販売の様子(龍山)



【その他】

ソウル市の代表的な繁華街である明洞では、靴やアクセサリー類、衣類等の偽ブランド品が露店を中心に大量に販売されていた。但しそのクオリティはどれも低く、見るからにニセモノと判るような代物ばかりであった。

また、現地で歴史的な伝統を誇る東大門市場・南大門市場では、日本発のキャラクター商品のニセモノの販売が確認された。

リレーエッセイ 58



㈱第一興商 常務取締役 山本裕治氏からのご紹介

川崎 代治 氏 (メモリーテック株式会社 代表取締役社長)

「句会の楽しみ」

15年ほど前から一ヶ月に一度のペースで気の合った仲間と句会を開いています。句会と言うのは俳句を作るのですが、ただ俳句を作るだけでなく、一種の大人のゲームのようなもので、その句会、句会でルールがあり、「座の文学」と言われています。我々の句会は「かぞの会」という名前で、「かぞ」と言うのはいわゆる「楮(こうぞ)、三桎(みつまた)」のことで「和紙」の意味です。メンバーは出版系、映像系、放送系の人間が多く、本当に口八丁、手八丁の連中ばかりで大変楽しい会です。何号か前に登場したパラマウント・ピクチャーズの浅香社長(俳号を紅香さんと言います)もメンバーの一人です。普通、素人の句会には先生役のプロの俳人と呼ばれるのですが我々の会はどうせ遊びをやるなら本家本元をと言う事で高浜虚子のひ孫である星野高士さんに来て貰っています。「かぞの会」では一人で六句作るのですが一句一句を先ず短冊に筆で書いて箱の中に入れてかき回し、その日の参加者に分けてそれを別の半紙に転記します。これを清記と言いその半紙を参加者の間で回しそれぞれが良いと思う句を選びます。つまり転記する事で筆跡から誰が書いたか分からない様にする訳です。当然先生の句はプロの作ったものですから上手いのですが我々の仲間にはコピーライターの一倉宏氏やCM監督の中島信也氏ら言葉のプロも多いのでわいわいと酒など飲みながらわざと先生の句を選ばないなどと意地悪な事をしたりして楽しんでいきます。有名な俳句の先生は全国に何百人、何千人ものお

弟子さんがいて普通なら大変無礼、且つ失礼な事なのですが我々の会はいわゆる「ギョウカイ人」の集まりなので先生も大目に見てくれています。句会をやって良かったのは、毎日忙しい日常の中で、一ヶ月に一度「非日常的」な時間を過ごせること、俳句を通じて日本語の難しいことを再認識させられたこと(何しろ俳句はたった十七文字なので「の」が良いか、「が」が良いかなどと良い大人が侃侃諤諤議論をするのです)、三十数年間会社と家の往復で季節感の無かった生活の中に季語を勉強したことで道端に咲いている草や普段食べている魚にもそれぞれの四季があり「日本人」であることの楽しみ方を再認識したこと、もう無くなってしまった日本の美しい習慣を教えて貰ったことなど沢山あります。たとえばテレビのアナウンサーが平気で「麗らかな秋の一日」などと言っていますが、「麗らか」と言うのは春の代表的な季語で夏や秋には使いません。秋は「爽やかな一日」と言うべきです。同じ様に「涼しい」と言うのは夏の季語です。夏は暑いからこそ「涼しさ」を感じると言う訳です。その他「日脚伸び」とか「秋深し」とか美しい日本語を俳句をやるだけで自然と学ぶことが出来ます。皆さんも是非一句ひねってみませんか。春の句をいくつか……。

春雨や一人歩きの首すじに
下萌にそっと片足置いてみし
花冷えや門閉ざしたる伝法院 城春

日誌に見る協会の動き

【1月】

- 6. 新年賀詞交歓会(アルカディア市ヶ谷11時30分~)
- 10. 関西地区連新年会
統計調査委員会
- 11. 中部地区連新年会
- 13. ACAシンポジウム打合せ
九州地区連新年会
- 17. マーケティング委員会
東北地区連新年会
- 19. 次世代光ディスク委員会
- 20. パス小委員会
- 23. 映像倫運営委員会

- 24. 次世代光ディスク委員会・ワーキンググループ
(パッケージ関連検討チーム)
- 26. JASRAC会議
業務部会幹事会
- 27. 消費者委員会
- 31. ACA企画広報部会

【2月】

- 2. BBマルチメディア委員会
- 3. キャンペーン小委員会
- 7. 理事会
ACAシンポジウム打合せ

- 13. マーケティング委員会
ACA視察ツアー説明会
- 14. 総合連絡委員会
ACA総会
- 16. 著作権部会
- 17. 業務使用対策委員会
- 19. ACA韓国・台湾視察ツアー(~25)
- 23. 業務部会幹事会
- 27. JASRAC会議
- 28. キャンペーン表彰式
(於 新阪急ホテル)

統計

2005年12月度

	12月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～12月の累計								
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	31,227	80.3%	87.1%	9,397	82.5%	81.1%	941	123.2%	増減 3社 22社 その他5社	249,441	75.4%	100.0%	86,663	81.4%	104.0%	9,119	113.0%
レンタル店用	7,326	18.8%	91.2%	1,331	11.7%	92.9%	705	158.4%		79,552	24.0%	121.4%	15,355	14.4%	117.1%	6,242	135.5%
その他・業務用	343	0.9%	188.5%	660	5.8%	136.6%	0	ERR		1,855	0.6%	117.3%	4,453	4.2%	133.6%	109	125.3%
DVDビデオ	38,896	96.2%	88.3%	11,388	97.7%	84.4%	1,646	136.1%	増減 14社 15社 その他3社	330,848	93.6%	104.5%	106,471	96.0%	106.7%	15,470	121.2%
販売用	297	19.4%	43.9%	71	26.3%	22.3%	31	48.4%		3,090	13.8%	41.1%	904	20.3%	32.9%	535	63.6%
レンタル店用	1,208	79.0%	30.6%	188	69.8%	30.4%	151	60.9%		18,844	83.9%	40.0%	3,251	73.0%	46.9%	2,129	87.4%
その他・業務用	25	1.6%	46.3%	11	3.9%	18.1%	0	ERR	530	2.4%	60.6%	299	6.7%	50.7%	43	66.2%	
カセット	1,530	3.8%	32.7%	269	2.4%	27.1%	182	58.3%	増減 14社 15社 その他3社	22,464	6.4%	40.5%	4,454	4.0%	43.4%	2,707	81.0%
合計	40,426	100.0%	82.9%	11,658	100.0%	80.4%	1,828	120.2%		353,312	100.0%	94.9%	110,925	100.0%	100.8%	18,177	112.8%

今月の売上報告社数.....32社 (前年同月の報告社数: 31社) 無回答社.....5社
 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
 累計値については、1月～6月の累計として2005年上半期統計報告の数字を用いている。

1月～12月の累計は各月の速報値を累計したものであり、2005年統計報告Vol.61(3頁に抜粋)の数字とは誤差がある。

2006年1月度

	1月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～1月の累計								
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	16,567	71.0%	114.1%	5,387	78.3%	199.2%	651	143.7%	増減 14社 14社 その他4社	16,567	71.0%	114.4%	5,387	78.3%	119.2%	651	143.7%
レンタル店用	6,635	28.5%	171.1%	1,205	17.5%	176.4%	515	139.2%		6,635	28.5%	171.1%	1,205	17.5%	176.4%	515	139.2%
その他・業務用	119	0.5%	164.0%	290	4.2%	169.3%	0	ERR		119	0.5%	164.0%	290	4.2%	169.3%	0	ERR
DVDビデオ	23,321	97.2%	126.5%	6,881	98.1%	128.1%	1,166	141.7%	増減 7社 18社 その他4社	23,321	97.2%	126.5%	6,881	98.1%	128.1%	1,166	141.7%
販売用	112	16.4%	38.8%	63	47.6%	67.5%	30	50.0%		112	16.4%	38.8%	63	47.6%	67.5%	30	50.0%
レンタル店用	553	81.2%	36.5%	61	45.7%	22.1%	107	64.8%		553	81.2%	36.5%	61	45.7%	22.1%	107	64.8%
その他・業務用	16	2.3%	66.7%	9	6.8%	178.5%	0	0.0%	16	2.3%	66.7%	9	6.8%	178.5%	0	0.0%	
カセット	681	2.8%	37.3%	133	1.9%	35.6%	137	60.1%	増減 7社 18社 その他4社	681	2.8%	37.3%	133	1.9%	35.6%	137	60.1%
合計	24,002	100.0%	118.5%	7,014	100.0%	122.1%	1,303	124.0%		24,002	100.0%	118.5%	7,014	100.0%	122.1%	1,303	124.0%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 31社) 無回答社.....3社
 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合

2006年2月度

	2月実績 (金額単位: 百万円 数量単位: 千本・千枚)								1月～2月の累計								
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比
販売用	15,319	68.7%	92.2%	5,006	74.1%	104.3%	793	123.1%	増減 16社 12社 その他6社	31,886	69.9%	102.6%	10,392	76.2%	111.5%	1,444	131.6%
レンタル店用	6,841	30.7%	131.6%	1,421	21.0%	157.3%	695	129.9%		13,476	29.5%	148.5%	2,625	19.3%	165.6%	1,210	133.7%
その他・業務用	130	0.6%	121.5%	327	4.8%	159.5%	0	ERR		249	0.5%	138.7%	617	4.5%	163.9%	0	ERR
DVDビデオ	22,290	96.5%	101.7%	6,753	98.2%	114.3%	1,488	126.2%	増減 6社 19社 その他5社	45,611	96.9%	113.1%	13,634	98.2%	120.9%	2,654	132.6%
販売用	118	14.8%	60.2%	9	7.8%	22.1%	19	42.2%		230	15.6%	47.4%	72	28.6%	53.4%	49	46.7%
レンタル店用	659	82.6%	32.8%	103	85.2%	30.9%	92	35.8%		1,212	81.9%	34.4%	163	64.5%	26.9%	199	47.2%
その他・業務用	21	2.6%	80.8%	9	7.1%	38.1%	0	0.0%	37	2.5%	74.0%	18	6.9%	63.9%	0	0.0%	
カセット	798	3.5%	35.8%	120	1.8%	30.4%	111	36.3%	増減 6社 19社 その他5社	1,479	3.1%	36.5%	253	1.8%	32.9%	248	46.4%
合計	23,088	100.0%	95.6%	6,874	100.0%	109.0%	1,599	107.7%		47,090	100.0%	106.1%	13,887	100.0%	115.2%	2,902	114.4%

今月の売上報告社数.....34社 (前年同月の報告社数: 31社) 無回答社.....3社
 売上金額の増減社数.....前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合

社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名（五十音順） 2006年4月3日現在

正会員（36社）

(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
(株)インプレスホールディングス
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング・コミュニケーションズ(株)
(株)NHKエンタープライズ
角川ヘラルド映画(株)
(株)角川エンタテインメント
(株)角川書店
カルチュア・パブリッシャーズ(株)
(株)ギャガ・コミュニケーションズ
キングレコード(株)
コロムビアミュージックエンタテインメント(株)
ジェネオンエンタテインメント(株)
(株)小学館
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
東映ビデオ(株)
東芝EMI(株)
東芝エンタテインメント(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
凸版印刷(株)
日活(株)
(株)パップ
(株)ハピネット
パラマウント ホーム エンタテインメント ジャパン(株)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン(株)
ユニバーサルミュージック(株)
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

協賛会員（21社）

(株)アイ信
(株)一丸印刷所
(株)IMAGICA
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニーPCL(株)
大日本印刷(株)
(株)東京現像所
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
(株)トーハン
東洋レコーディング(株)
(株)図書館流通センター
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
富士フィルムイメージング(株)
マルサカ商事(株)
メモリーテック(株)